



<日本気象協会からのお知らせ>

2019年9月13日

日本気象協会から公開シンポジウムのご案内  
～極端気象時の北海道への物流の確保・連携を考える～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：長田 太、以下「日本気象協会」）は10月18日（金）、今年で4年連続となる日本気象協会 北海道支社主催の公開シンポジウムを、北海道札幌市にて開催します。今回の公開シンポジウムのタイトルは「極端気象時の北海道への物流の確保・連携を考える」です。

北海道内外への物流輸送は、トラックや海運、鉄道に支えられる側面が大きく、各輸送手段の運休、遅れは、社会生活や経済活動への影響に直結します。そこで公共交通や物流に関わる学識者による講演を行うとともに、管理者や事業者を交えたパネルディスカッションを行い、極端気象時（大雨、強風、高波、大雪、吹雪など）の物流輸送のあり方や将来像について議論を行います。

<シンポジウム概要>

1. 名 称：極端気象時の北海道への物流の確保・連携を考える
2. 日 時：2019年10月18日（金）14:30-17:20（受付開始14:00）
3. 場 所：ANA クラウンプラザホテル札幌3階「鳳」（札幌市中央区北3条西1丁目2-9）
4. 言 語：日本語
5. 参加条件：どなたでもご参加いただけます（事前申込が必要です）
6. 参加方法：以下のメールアドレスまたはFAXにてお申し込みください（先着順）

【メール】logi\_sympo@jwa.or.jp

【FAX】011-640-2383

※本シンポジウムは、土木学会認定 CPD プログラム（認定番号：JSCE19-0952）（2.2 単位）となっています。

7. 主 催：一般財団法人日本気象協会 北海道支社
8. 共 催：一般社団法人北海道開発技術センター  
一般財団法人北海道道路管理技術センター
9. 後 援：国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局、札幌管区气象台、北海道、札幌市、東日本高速道路株式会社北海道支社、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所、一般財団法人北海道開発協会、公益社団法人北海道トラック協会、公益社団法人土木学会北海道支部、公益社団法人日本気象学会北海道支部、公益社団法人日本雪氷学会北



海道支部、公益社団法人日本技術士会北海道本部、NPO 法人雪氷ネットワーク

10. チラシ : シンポジウム 極端気象時の北海道への物流の確保・連携を考える.pdf  
(PDF/710KB)

●プログラム

■主催者挨拶 14:30

一般財団法人日本気象協会 北海道支社 支社長 佐藤 隆光

■基調講演

「北海道の持続可能な物流ネットワークをつくる」

北海道大学大学院 工学研究院 准教授 岸 邦宏 氏

■パネルディスカッション

「極端気象時の北海道への物流の確保・連携を考える」

<コーディネーター>

北海道大学大学院 工学研究院 教授 萩原 亨 氏

<パネリスト>

北海道大学大学院 工学研究院 准教授 岸 邦宏 氏

北海道開発局建設部 道路維持課 道路防災対策官 青木 秀一 氏

東日本高速道路株式会社 北海道支社 道路事業部 事業統括課 課長 加藤 謹也 氏

公益社団法人北海道トラック協会 理事・総務委員長 野村 佳史 氏

一般財団法人日本気象協会 北海道支社 事業サービス課 気象予報士 森 和也

■閉会挨拶 17:10

一般社団法人北海道開発技術センター 理事長 山口 登美男 氏

<司会>

一般財団法人日本気象協会 北海道支社 事業サービス課 二本柳 友弥子

なお、シンポジウム終了後、同ホテル内にて参加希望者による情報交換会（有償、事前申込制）を開催する予定です。詳細はチラシの内容をご確認ください。

※プログラムの内容は当日までに変更する可能性があります。

以上